

平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社

コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 峰崎 揚右

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	525	—	△25	—	△21	—	△48	—
20年6月期第3四半期	462	61.6	△64	—	△57	—	△129	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第3四半期	△1,521.06	—
20年6月期第3四半期	△4,058.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第3四半期	1,774	1,586	89.1	49,498.24
20年6月期	1,780	1,632	91.6	51,019.30

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 1,581百万円 20年6月期 1,629百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年6月期	—	0.00	—		
21年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	698	13.0	△109	—	△104	—	△129	—	△4,063.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年6月期第3四半期	31,948株	20年6月期	31,948株
② 期末自己株式数	21年6月期第3四半期	—株	20年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年6月期第3四半期	31,948株	20年6月期第3四半期	31,872株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、百年に一度といわれる世界同時の景気後退により、企業収益の大幅な落ち込み、さらには、雇用情勢の悪化による個人消費意欲の減退など、極めて厳しい状況にありました。

このような状況のもと、インターネット関連市場においては景気後退により、節約志向の強まった消費者がインターネットで情報収集を行い商品を選択するケースが増加し、比較サイトへの期待が高まっておりますが、企業の広告出稿は、経費削減による広告宣伝費の縮小傾向が進み、一層の冷え込みを見せております。

当社グループは、主要事業であるインターネット広告事業の総合比較サイト『比較.com』において、サービスのリニューアル、機能追加、情報の拡充等を行い、さらに広告出稿を行うことで、『比較.com』の認知度、収益の向上に努めてまいりました。ショッピングサービスにおいては、システム再構築やページ構成の見直し、商品数及びカテゴリー数拡大の結果、平成21年1月の商品クリック数が平成16年のサービス開始以来過去最高を更新し、平成21年1月～3月までの平均閲覧ページ数も前年同期比約1.3倍、平均閲覧者数は約2.1倍と好調に推移いたしました。

アプリケーションサービス事業においては、主力商品である予約サイトコントローラ『手間いらず』の海外予約サイトへの対応をはじめ、コントロール可能な『自社宿泊予約エンジン』の接続数を増やし、宿泊施設向けに広告宣伝を行うことで、利用施設数の拡大につながりました。また、更なるサービス拡充に向け、製品開発に注力いたしました。

オンライントラベル事業においては、システム改善により、サービスの利便性が高まりました。海外航空券予約サービスに続き、海外ダイナミックパッケージの商品検索ステップも簡素化し、空席・空室の有無がひと目で分かるようになりました。この結果、即時予約率が向上し、サイト全体のキャンセル率が前年同期比約40%の改善、海外ダイナミックパッケージに限っては約54%もの改善となりました。さらに平成20年9月にサービスを開始した海外ホテル予約サービスにおいては、13都市からスタートした取扱い都市が平成21年3月末には120都市・約4,500ホテルに拡大しております。また平成21年3月には、プレコ株式会社より国内ホテル総合予約サービス事業を譲受け、海外旅行関連にとどまらず、より幅広いサービス、商品の提供が可能となりました。

その他事業においては、平成20年11月に新たに連結子会社となった株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーが遺伝子情報に基づいた新サービスの開発を行い、今後の販路拡大に向けて活動いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は売上高525,056千円、営業損失25,824千円、経常損失21,292千円、四半期純損失48,594千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①インターネット広告事業

当社グループの主要事業であるインターネット広告事業においては、昨年からの好調な投資関連サービス内のFX（外国為替証拠金取引）比較サービスにて、平成21年1月の月間口座開設申込件数が過去最高を更新いたしました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は257,167千円となりました。

②アプリケーションサービス事業

アプリケーションサービス事業においては、主力商品である『手間いらず』のクライアント（利用宿泊施設）数が引き続き堅調に増加し、平成21年1月末で1,500件を突破いたしました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は242,217千円となりました。

③オンライントラベル事業

オンライントラベル事業においては、システム改善により集客力が向上し、また国内ホテル総合予約サービス事業の譲受けにより新たな収益源を確保いたしました。景気悪化による旅行需要の低迷が続いたため、低調に推移いたしました。

この結果、オンライントラベル事業の売上高は24,327千円となりました。

④その他事業

その他事業においては、遺伝子情報に基づいた体質改善の情報提供サービスを行いました。

この結果、その他事業の売上高は1,343千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、1,774,890千円となり、前連結会計年度と比較して、5,455千円の減少となりました。

主な要因は、未収入金の減少46,889千円、ソフトウェアの減少3,400千円、敷金の減少2,532千円及びのれんの増加47,421千円です。

当第3四半期末の負債は、188,208千円となり、前連結会計年度末と比較して、40,792千円の増加となりました。

主な要因は、未払金の増加76,256千円、仮受金の増加3,530千円及び未払法人税等の減少14,629千円、預り金の減少25,113千円です。

当第3四半期末の純資産は、1,586,681千円となり、前連結会計年度末と比較して、46,247千円の減少となりました。

要因は、新株予約権の増加2,347千円と四半期純損失の発生48,594千円によるものです。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は19,878千円となりました。

主な内容は、還付法人税等の受取額47,621千円、のれんの償却37,783千円及び預り金の減少額25,177千円、法人税等の支払額41,572千円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は13,066千円となりました。

主な内容は、定期預金の払戻による収入30,000千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,232千円、事業譲受による支出11,550千円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,941千円となりました。

内容は短期・長期借入金の返済による支出です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の通期連結業績予想につきましては、当初発表した「経営改善計画」における施策は計画通り実行されておりますが、平成21年4月以降の人員追加や、事業拡大によるシステム増強、広告宣伝による費用の増加、景気の後退感が強まっている市況の影響も考慮し、平成20年8月15日発表の業績予想は変更しておりません。

今後変更がありましたら適時・適切にお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,322	712,320
受取手形及び売掛金	99,235	98,993
有価証券	400,000	500,000
その他	8,602	57,226
貸倒引当金	△1,334	△1,091
流動資産合計	1,319,826	1,367,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	0	0
その他(純額)	72	1,490
有形固定資産合計	72	1,490
無形固定資産		
のれん	386,718	339,296
その他	12,101	12,271
無形固定資産合計	398,819	351,567
投資その他の資産		
繰延税金資産	432	650
その他	59,296	63,151
貸倒引当金	△3,556	△3,963
投資その他の資産合計	56,172	59,838
固定資産合計	455,063	412,896
資産合計	1,774,890	1,780,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,805	5,614
未払法人税等	9,708	24,337
その他	173,695	117,464
流動負債合計	188,208	147,416
負債合計	188,208	147,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	706,550	706,550
資本剰余金	997,550	997,550
利益剰余金	△122,730	△74,135
株主資本合計	1,581,369	1,629,964
新株予約権	5,312	2,964
純資産合計	1,586,681	1,632,929
負債純資産合計	1,774,890	1,780,345

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)
売上高	525,056
売上原価	68,355
売上総利益	456,700
販売費及び一般管理費	482,525
営業損失(△)	△25,824
営業外収益	
受取利息	3,190
為替差益	1,221
その他	124
営業外収益合計	4,535
営業外費用	
支払利息	3
営業外費用合計	3
経常損失(△)	△21,292
特別利益	
貸倒引当金戻入額	163
特別利益合計	163
特別損失	
固定資産除却損	655
特別損失合計	655
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,783
法人税、住民税及び事業税	24,057
法人税等調整額	2,753
法人税等合計	26,811
四半期純利益	△48,594

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	195,613
売上原価	21,555
売上総利益	174,058
販売費及び一般管理費	172,889
営業利益	1,168
営業外収益	
受取利息	806
その他	0
営業外収益合計	806
営業外費用	
為替差損	751
営業外費用合計	751
経常利益	1,224
税金等調整前四半期純利益	1,224
法人税、住民税及び事業税	8,210
法人税等調整額	1,917
法人税等合計	10,127
四半期純損失(△)	△8,902

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△21,783
減価償却費	4,877
のれん償却額	37,783
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△163
受取利息及び受取配当金	△3,190
売上債権の増減額 (△は増加)	664
仕入債務の増減額 (△は減少)	△820
預り金の増減額 (△は減少)	△25,177
その他	18,103
小計	10,292
利息及び配当金の受取額	3,537
法人税等の還付額	47,621
法人税等の支払額	△41,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	30,000
無形固定資産の取得による支出	△4,102
有形固定資産の取得による支出	△80
敷金及び保証金の差入による支出	△3,459
敷金及び保証金の回収による収入	5,491
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,232
事業譲受による支出	△11,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△941
長期借入金の返済による支出	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,941
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,002
現金及び現金同等物の期首残高	1,177,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,208,322

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前々連結会計年度以降、当第3四半期連結累計期間まで、営業損失、経常損失及び四半期（当期）純損失を継続的に計上しているため、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当該状況を解消すべく、経営改善計画（平成21年6月期から平成23年6月期）に沿って、収益性改善のため、事業の再構築とコスト削減を推進してまいりました。

事業の再構築においては、ショッピングサービスのシステム再構築、表示項目、ページ構成の見直し等を行い、商品数の増加とカテゴリー数の増加をすることで内容充実をはかりました。その結果、平成20年12月にはショッピングの利用者数が過去最高を記録し、当第3四半期連結会計期間においての平均ページ閲覧数と閲覧者数も順調に増加しております。また、グローバルトラベルオンライン株式会社が国内ホテル総合予約サービス事業を譲受け、平成21年3月から国内旅行事業を開始したことにより、海外と国内の幅広いサービスと新たな収益源の確保を行いました。

コスト削減と開発体制の見直しにおいては、連結子会社の事務所を本社に移転したことをはじめ固定費の見直しを積極的に進め、コスト削減を行いました。また、収益が見込めるサービスへ人員を配置することで、開発の作業スピードと営業活動の強化を行いました。

なお、経営改善の結果、当第3四半期連結会計期間において、営業利益、経常利益を計上しました。

経営改善計画の概要

1. 事業の再構築

- ①ショッピング比較サービスを中心とした比較サービスの拡充
- ②『手間いらず』のシステム改善と営業促進
- ③オンライントラベル事業の拡充

2. コスト削減と開発体制の見直し

- ①人事制度の見直しと経費削減活動の継続による固定費の削減
- ②海外開発委託先の選別・絞込みによるコスト削減

なお、当第3四半期連結会計期間末現在、現金及び預金と有価証券（譲渡性預金）を合わせて1,213,322千円あり、当面の資金繰りには支障をきたさない状況にあります。

当社グループは、「経営改善計画」を確実に達成することにより、継続企業の前提に関する疑義は解消できるものと判断しております。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

	インターネット 広告事業 (千円)	アプリケーション サービス事業 (千円)	オンライン トラベル事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	257,167	242,217	24,327	1,343	525,056	—	525,056
(1) 外部顧客に対する 売上高	257,167	242,217	24,327	1,343	525,056	—	525,056
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	257,167	242,217	24,327	1,343	525,056	—	525,056
営業利益又は 営業損失(△)	11,370	32,695	△52,372	△2,002	△10,309	△15,515	△25,824

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 当第2四半期連結会計期間において、株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーの株式を取得したことに伴い、新たに「その他事業」が加わっております。

3. 各事業の主な製品

①インターネット広告事業 …… 当社運営の広告媒体(総合比較サイト『比較.com』等)

②アプリケーションサービス事業 …… 『手間いらず』『手間なし』『ネクストCMS』

③オンライントラベル事業 …… 海外旅行のオンライン予約サービス
国内ホテル総合予約サービス

④その他事業 …… 遺伝子情報に基づいた体質改善の情報提供

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年6月期第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	462,284
II 売上原価	87,028
売上総利益	375,255
III 販売費及び一般管理費	439,469
営業利益	△ 64,214
IV 営業外収益	6,735
V 営業外費用	22
経常利益	△ 57,500
VI 特別利益	1,840
VII 特別損失	51,048
税金等調整前四半期純利益	△106,708
法人税等合計	22,641
四半期純利益	△129,350

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年7月1日 至 平成20年3月31日)

	前年同四半期(平成20年6月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純損失	△ 106,708
減価償却費	2,322
のれん償却費	36,894
減損損失	49,743
株式報酬費用	2,033
貸倒引当金の増加額(△減少額)	10,439
ポイント引当金の増加額(△減少額)	△ 1,517
受取利息及び受取配当金	△ 5,212
売上債権の減少額(△増加額)	△ 24,158
未払金の増加額(△減少額)	3,798
その他	△ 9,884
小計	△ 42,250
利息及び配当金の受領額	5,327
法人税等の支払額	△ 32,009
還付法人税等の受取額	48,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,457
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金への預入による支出	△ 30,000
有形固定資産の取得による支出	△ 2,852
差入敷金保障金の受取による収入	146
差入敷金保障金の支払による支出	△ 3,122
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 20,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 56,310
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の発行による収入	475
短期借入金の返済による支出	△ 5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,525
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 81,293
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,335,509
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,254,216

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日）

	インターネット 広告事業 (千円)	アプリケーション サービス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	263,453	198,830	462,284	—	462,284
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	263,453	198,830	462,284	—	462,248
営業費用	346,226	189,639	535,865	△ 9,367	526,498
営業利益(又は営業損失)	△ 82,772	9,190	△ 73,581	9,367	△ 64,214

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項がありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

該当事項はありません。